

FSI技術職者 レベル診断票

記入日: _____

所属: _____ 社員番号: _____ 氏名: _____

評価点	評価レベル	評価点	評価レベル
5	指示・教育ができる。知識・理解力は指導者レベル。	2	上長指示の下でできる。知識・理解力は50%程度。
4	全て独力でできる。知識・理解力は100%ある。	1	上長指示の下50%はできる。知識・理解力は30%程度。
3	一部は独力でできる。知識・理解力は80%程度。	0	できない。知識・理解力はない。

NO	評価内容	評価点
1	顧客の要求事項だけでなく、想定される要件に関するQ&Aを実施しながら、要件定義書が記述できる。	
2	顧客の要求要件または、要件定義書から、プロジェクトの全工程における工数規模が見積もれる。	
3	要件定義後の仕様作成時に顧客に対する確認・検討事項の列挙ができ、機能・性能・ユーザインタフェース、工期・費用などの各要素に対する優先順位付けやその決定に対して顧客と折衝ができる。	
4	プラットフォーム・インフラの設計及びサイジングができる。また、データセンタファシリティやハード・ネットワーク機器類、ミドルウェア製品などを外部ベンダに対して、見積もり依頼及びその評価、交渉ができる。	
5	要件定義書、または仕様書からミドルウェアの選定も含めたアプリケーションの設計ができる。	
6	アプリケーション設計書に基づき、モデリング、データフロー、アルゴリズム、DBテーブル及び画面・帳票など詳細設計書の作成ができる。	
7	設計、プログラムコーディング、テスト、導入などの各作業を量及び質で説明ができ、かつ評価もできる。	
8	同期・非同期の通信プロトコルの設計及び仕様書が作成できる。	
9	詳細設計書に基づき、フローチャート作成、プログラムコーディング、単体テスト及びデバッグができる。	
10	結合テストの検証項目とテスト方法の策定及びテスト環境設定ができる。また必要なテストプログラム及びテストデータの作成もできる。	
11	開発モジュールやプログラムのバージョン管理やリリースキットの作成が体系的、合理的に行入、デグレードなどの単純ミスを犯すことなく作業ができる。	
12	本番環境への出荷や設定変更時に、適正な作業手順書を作成できる。また作業する場合、前後に他者に確認をさせたり、顧客の承認・報告など一連の手順を確実に踏む事ができる。	
13	顧客主体に行う総合テスト(UAT)時に各種条件(性能、整合性、障害など)を考慮したテスト仕様書が作成できる。	
14	構築・開発フェーズにおいて要員管理、進捗管理が計画通りに入行る。また、要員のスキル評価及び成果測定が行える。	
15	プロジェクトを円滑に進めるために、メンバーのメンタルケアやモチベーションの維持だけでなく外部ベンダとの折衝や顧客への報告・折衝などができる。	
16	顧客運用に対する通常及び障害時のタイムフローを含む運用設計及び仕様書作成ができる。	
17	運用監視と障害時エスカレーション及びデリバリーに関する規定、ステージング運用も含めたベンダ側の保守業務仕様書が作成できる。	
18	ユーザ向けに操作説明ができ、説明書の記述もできる。また、習熟していないユーザが操作面でミスをしやすい箇所を想定できる。	
19	顧客からの問合せ、クレーム、障害の受付が確実にでき、かつ上長への報告が迅速にできる。また、内容を精査し、対処案の作成及び作業や指示ができる。	
20	顧客からの申し入れや対応すべきと思われる課題が、保守契約範囲内の事項かどうか判断できる。	
21	障害報告書の作成が、速報も含め迅速に記述でき、顧客への報告・説明ができる。	
22	英文で書かれた、ミドルウェアやAPI仕様書が読解できる。また、メールによる英語でのQ&Aができる。	
23	IT業に関するプロとして、標準的ツール、OS、ミドルウェアの知識があり、尚且つ最新・最先端の技術トレンド、ハード機器、ソフト製品やサービスについての知識がある。	
24	顧客のビジネスが発展・拡大するために、ITシステムの役割とそのコストがどうあるべきかを理解している。また、顧客業種に対する法制度上の規定、セキュリティ、耐障害性、可用性のレベルを認識できている。	
25	新規システム導入及び既存システムの改善・機能追加などの企画提案書を顧客が理解できる言葉と表現で作成及び説明ができる。	
	合 計	0
	平 均	#DIV/0!